

映画学科 学科ルーブリック (学修到達度ルーブリック)

芸術学部ディプロマ・ポリシー			学科別	4	3	2	1
DP	6つの力	内容	内容	卒業時到達レベル (=DPIにおける到達目標レベル)	3年修了時到達レベル	2年修了時到達レベル	1年修了時到達レベル
人間力 自立した一人の人間として生きるための力	知識・情報収集力	自分をとりまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	自分をとりまく人間、社会、自然を「よく観る／よく聴く」能力や習慣を用いて観察し、映画制作や演技その他の自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	「よく観る／よく聴く」に基づく映画的な観察力や、知識や情報の主体的かつ体系的な収集能力及び理解力を、映画制作や演技のみならず、それ以外の自分が目指す領域でも活用することができる	2年修了時に見出された「対象」をより社会的な訴求力や発信力のあるものへと発展させるため、必要な知識や情報を主体的かつ体系的に収集し、理解することができる。	・映画制作や演技全般の基盤となる、「よく観る／よく聴く」の応用的なスキルを身につけることができる。 ・上記のスキルを有効に活かすことのできる制作や研究の「対象」を知識・情報の収集や理解を通じて見出すことができる	・映画制作や演技全般の基盤となる、「よく観る／よく聴く」の習慣や入門・基礎的なスキルを身につけることができる。 ・上記のスキルを有効に活かすことのできる制作や研究の「対象」を見出すために、知識・情報の収集を開始することができる。
	コミュニケーション力	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	さまざまな領域や要素から成る総合的な芸術である映画制作やそこの演技の実践・研究を通じて身につけた、異なる価値観を持つ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	さまざまな領域や要素から成る映画制作やそこの演技の実践・研究を発展レベルに到達させることを通じ、異なる価値観を持つ他者との間の相互理解の形成や協働を、表現や作品の質の高さに反映させることができる	さまざまな領域や要素から成る映画制作やそこの演技の実践・研究を発展レベルに到達させることを通じ、異なる価値観を持つ他者との間の相互理解の形成や協働を、表現や作品の質の高さに反映させることができる	さまざまな領域や要素から成る映画制作やそこの演技の実践・研究を応用レベルで学び経験することを通じ、異なる価値観を持つ他者との間に相互理解の形成や協働することができるようになる	さまざまな領域や要素から成る映画制作やそこの演技の実践・研究を入門・基礎レベルで学び経験することを通じ、異なる価値観を持つ他者との間の相互理解の形成や協働の楽しさや難しさを知ることができる
	倫理観	自身の良心と社会の多面的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	・映画制作や演技の基盤となる「よく観る／よく聴く」能力や習慣、つねに周囲の社会との接点を意識する姿勢を、社会の多面的な理解や観察、現代社会の課題を見出すために活用できる。 ・制作や研究の成果を広く発信し、自らの学びや表現、技術を社会のために活かすことができる	・「よく観る／よく聴く」能力や姿勢を、社会の多面的な理解や現代社会の課題の解決に向けた提案に結び付けることができる。 ・つねに周囲の社会との接点を意識する能力や習慣を、映画制作や演技以外の領域にまで発展的に活用することができる。 ・制作や研究の成果を広く発信し、自らの学びや表現、技術を社会のために活かすことができる	・映画制作や演技の発展レベルでの学びで獲得した「よく観る／よく聴く」能力や姿勢を、社会の多面的な理解や観察、そこの課題の発見に結び付けることができる ・周囲の社会との接点をつねに意識する能力や習慣を、表現や作品の質の高さに役立てることができる。 ・制作や研究の成果を広く発信し、自らの学びや表現を社会のために活かす試みを実践することができる	・映画制作や演技の応用レベルの学びで獲得した「よく観る／よく観る」能力や姿勢を、社会の多面的な理解や観察、そこの課題を見出すために活用することができる。 ・周囲の社会との接点をつねに意識する能力や習慣を獲得できる。 ・制作や研究の成果を広く発信するための基礎的なスキルや方法を身につけることができる	・映画制作や演技の入門・基礎的な学びで獲得した「よく観る／よく聴く」能力や姿勢を、社会の多面的な理解や観察、そこの課題を見出すために活用することの重要性に気づくことができる。 ・周囲の社会との接点をつねに意識することの重要性に気づくことができる ・制作や研究の成果を広く発信することの意義を理解することができる
創造力 芸術の力を社会に活かすための力	論理的思考力	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	・所与の知識や情報をもとに、社会（映画＝テキスト）を成り立たせる諸現象を、常識や固定概念にとらわれることなく分析＝批評的に吟味することができる ・制作や研究、演技を通して分析的かつ論理的な思考を展開することができる	所与の知識や情報をもとに、社会（映画＝テキスト）を分析＝批評的に吟味する能力や姿勢、さらには制作や研究を通じて獲得した論理的思考力を、映画制作や演技のみならず、さまざまな領域にまで射程を広げ発展的に展開することができる	・所与の知識や情報をもとに、映画（＝テキスト）を成り立たせる諸要素を分析＝批評的に吟味する方法を、社会のさまざまな諸現象にまで応用することができる。 ・上記の過程で培った論理的思考を、自身の研究や制作、演技において応用レベルで展開させることができる	所与の知識や情報をもとに、映画（＝テキスト）を成り立たせる諸要素を分析＝批評的に吟味する方法を高め、制作や研究、演技を通して分析的かつ論理的な思考を基礎レベルで展開することができる	所与の知識や情報をもとに、映画（＝テキスト）を成り立たせる諸要素を分析＝批評的に吟味する方法に關することで、分析的かつ論理的な思考を入門レベルで展開することができる
	発想・構想力	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	感性的な直観や主観的な表現への欲望を、理性的かつ客観的な分析や思考から得られた発想に統合し、具体的な制作や研究、さらには社会の課題解決に結びつくテーマや仮説として構想することができる	感性的な直観や主観的な表現への欲望を、理性的かつ客観的な分析や思考から得られた発想に統合し、具体的な制作や研究、さらには社会の課題解決に結びつくテーマや仮説として発展・構想することができる	2年修了時に見出した制作や研究の「対象」を、理性的かつ客観的な分析や思考によって吟味し、より社会的な訴求力や発信力を備えたテーマや仮説の構想へと応用することができるようになる	感性的な直観や主観的な欲望を、制作や研究の具体的な「対象」（テーマ・仮説・作品）に結び付けるプロセスを通じ、理性的かつ客観的な分析や思考から得られる発想の重要性を学ぶことができる	映画制作や演技全般の基盤となる「よく観る／よく聴く」の習慣や入門的なスキルを、感性的な直観や主観的な表現への欲望に関連づけることができるようになる
	表現力	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる	テーマや仮説を、適切な表現媒体や形式に落とし込むための検証や実験を重ね、共感を生み出すことのできるかたちで可視化し、世に問うことができる	テーマや仮説を、適切な表現媒体や形式に落とし込み、共感を生み出すことのできるかたちで可視化する能力を、映画制作や演技のみならず、それ以外の自分が目指す領域でも発展的に活用することができる	自身のテーマや仮説を、適切な表現媒体や形式に落とし込むための検証や実験を重ね、共感を生み出すことのできるかたちで可視化し、世に問うことができるだけの応用力を身につけることができる	・さまざまな表現媒体や形式についての基礎的な学びを通じ、自身の制作や研究に相応しいテーマや仮説（対象）を見出すことができる ・上記のテーマや仮説を可視化（作品化）するための基礎レベルでの能力を身につけることができる	映画制作や演技全般の基盤となる「よく観る／よく聴く」に關わる、さまざまな表現媒体や形式についての入門的な学びや実践を通じ、テーマや仮説をそこに落とし込むうえでの礎を築くことができる